



Japan Healthcare Promotion Association

ニュースレター 2017年6月 / June 2017

第7回 総会無事に終了しました。



保健センターまでの国道5号線。工事が終わった箇所とまだ舗装ができていない箇所が交互に出没。

雨が降ると道はポコポコに。車の足回りにもかなり負担がかかってしまいました。



てんかん発作のコントロールが困難で毎月卒倒の発作を起こしている患者さんに、保護帽子を購入。

転倒しても頭を守るようになりました。ご本人も頭を打たないので安心と嬉しそう(^^)♪



去る、5月13日(土)に無事に第7回通常総会を終えることができました。もう、7回目。こうして、継続的に活動ができるのも、支援して下さる皆様のおかげと役員一同、感謝申し上げます。

さて今年も、私たちの活動拠点である保健センターから車で5分ほどの距離のところに、別の日本の医療支援NGO、apan Heartが診療所を設立した影響もあってか、健康診断に来る患者さんが減りました。当初は日本の医師が駐在していたようですが、一度、外科処置が必要と思われる患者さんを紹介しようと電話をした時には「日本の医師はいない」といわれました。その後、1回の健康診断の患者数が30~40名となっています。

日付	患者数	活動参加者
16/04/03	20	七海・Ly Layhak・Meng
16/05/01	32	七海・Ly Layhak・Meng・
16/06/03	25	七海・Ly Layhak・Meng
16/07/14	18	七海・Ly Layhak・Meng, 中本
16/08/11	34	七海・Ly Layhak・Meng・
16/09/18	40	七海・Ly Layhak・Meng・五條(歯科医)・ブッティ
16/10/11	28	七海・Ly Layhak・Meng・生出(薬剤師)・曲淵(薬剤師)
16/11/15	51	七海・Ly Layhak・Meng・
16/12/12	39	七海・Ly Layhak・Meng
17/01/12	29	七海・Ly Layhak・Meng
17/02/10	29	七海・Ly Layhak・Meng
17/03/7	31	七海・Ly Layhak・Meng
のべ合計	376	

活動計算書報告: 医薬品購入代が増えてきました。

NGOで使っている医薬品ですが、以前にいただいた寄付の医薬品もそろそろ減ってきており、購入する医薬品が増えてきました。現在購入している主な医薬品は、糖尿病薬(メホルミン)、高血圧薬(アムロジピン)、抗生物質、シップ剤、抗真菌外用剤、血糖測定チップ及び針で、今年度の医薬品購入金額は330800円となっています。

今後は健胃薬や痔軟膏などの一般用医薬品の購入の必要性が出てくることも考えられるため、配置薬関連団体や製薬組合などの関連団体に現物寄付をお願いしていくことも検討しています。

また、カンボジア事務所で保管していた医薬品ですが、保管場所の現在の2Fのオフィスから上の階に移さなければならなくなり、保管棚の購入が必要になりました。

また、てんかん発作のコントロールが難しい患者さんのために、頭を守る保護帽子を1万円で購入。「頭を打つ心配がない」嬉しそうにかぶってきてくれています。

保健省までの国道5号線の工事も進んでいるはずなのに、途中で舗装工事が途絶えていて、急な段差があったり、舗装前の水撒き(?)で道に穴が空いたりコンディションの悪さは相変わらず。舗装した部分としてしていない部分の落差が激しく、それはそれで車のサスペンションなどの足回りにもかなり負担がかかってしまいました。それでも、どうにか昨年よりは車の修理代が抑えられました。少しずつ道は綺麗になっていますので来年は修理代も減っていくと思います。



保健センター近くのお寺のお坊さん。ここのお寺からは、小坊主さんも痔や皮膚炎などでよく来られます。

このお坊さんは最高血糖値600超えになってしまい、体調も最悪になりましたが、雨森先生のお蔭で現在血糖値200くらいを維持。随分元気になれました。

科目	国際協力事業	管理部門	合計
I 経常収益			
1. 受取会費		140000	140000
2. 受取寄附金	316800	300000	616800
経常収益計	316800	440000	756800
II 経常費用			
(1) 人件費	24000		
福利厚生	21000		
人件費計	45000	0	0
(2) その他経費			
印刷費	2400	102	
旅費交通費	72000		
配送料	24400		
消耗品	330800		
修繕費	48000		
事務所備品		48000	
通信費		5880	
その他経費計	477600	53982	531582
経常費用計	522600	53982	576582
当期経常増減額			180218

28年度は国際協力事業以外の活動経費はなし。

糖尿病と高血圧の患者さんが増えてきました。

活動当初は3名ほどだった糖尿病患者さんも、現在は9名に増え、高血圧症の患者さんも14名に増えました。

高血圧や糖尿病の場合、健康診断に来た時点で「他の薬局で薬をもらっておりコントロールできている場合」にはうちから薬を出すことはありません。また、自己申告で「糖尿だ」「高血圧だ」と訴えても、当NGOの雨森医師の診断が無ければ薬を出すことはありません。服用中の薬を持参した場合でも、薬剤師の七海で薬を確認し、偽薬の可能性や、訴える症状と薬が合っていない可能性をチェックし、雨森先生にバトンタッチしています。

でも、それでも着々と増える慢性疾患の患者さん。現在は、価格の高い薬を避け、安いメトホルミン、グリベンクラミド、アムロジピンで対応しています。今後の継続的な活動がとても重要になってきました。

昨年から新しいメンバーが加わっています！

おとしまでは、カンボジア事務所の責任者Ly氏の友人で水道工をやっているYoung君が患者さんの受付のお手伝いをしてくれていましたが、昨年からは同じくLy氏の友人のMean氏が毎月の健康診断活動に同行してくれています。彼の本職はジャーナリスト！以前はフランスの新聞社で働いていました。今でもフリーでジャーナリストをしていて、タブレットとスマホの2つを使いこなして、ニュースをいつも聞いています。移動中の車の中ではいつもニュース談義に華が咲きます。

フランスの新聞社で仕事をしていたので、英語も少し話せるし、フランス語も少し読めるので、フランス語の検査結果などを持ってこられた時などは頼りになります。

最初はID番号が抜けたり、ダブったりということもあったのですが、ここ最近では作業にも慣れてきたようで、受付業務がスムーズになってきました。また、活動が長くなってきたので、「IDカードを失くした」という人や、家族や近所の友人からIDカードを言付かってきた人など、患者さんの状況もバラエティに富んできました。

私生活では、奥さんと子供二人、奥さんのご両親との同居という「マスオさん」的な生活。最近では自宅近くの土地で豚を育て始めて、養豚ビジネスも手掛け始めているそう。



胃が痛いと言った患者さんの血液検査の結果。なぜか血糖値まで測っていました。少しでも高かったら危うく血糖降下剤を出されるところだったようです。

健康診断の受付業務の様子。患者さんが持ってきたIDカードの番号をみて、ファイルからカルテを出してくれています。カルテのファイルは5冊分もあるので、一仕事です。



雨森先生ついにカンボジアに降り立つ！



去年の秋、季節外れの台風で上海での足止めを余儀なくされて、渡航がかなわなかった雨森先生。今年のゴールデンウィークようやく来訪がかないました！！

患者さんも雨森先生に会えるのが楽しみな様子で、64歳の糖尿病の患者さんも、ちょっとおしゃれ(?)しているような感じで、よく見ると口紅までつけているのではないですか！(笑)。で5月から最盛期になるマンゴーを自宅の庭からわざわざ収穫して持ってきてくれるほど。

少しずつ、医師と薬剤師の区別も分かってくれているようで、雨森先生が来られる日にいろいろ相談しようと思っている患者さんも♪

その証拠に、普段は30～40人程度の患者さんが、雨森先生が来られた日には、なんと70人超え！！

通訳は雨森先生が来られるときにいつもお願いする、日本への渡航もしている、カウオブツィ氏。流ちょうな日本語で、雨森先生の診察をサポートしてくれました。

湿布薬だけ、ビタミン剤だけの人はいつも通り薬剤師で対応しましたが、慢性疾患の患者さんや新しい患者さん、いつもと訴えが違う患者さんは全て雨森先生に。

気が付くと・・・先生の診察室は人だかりになっていました。

先生の診察の時、待っている患者さんは、診察を受けている患者さんの話しが丸聞こえの状態。守秘義務や患者さんのプライバシーが守られている現在の日本からすると、少し異様に見える光景ですが、これはカンボジアでは当たりまえなんですね～～。

患者さんも「人に聞かれない」「人のいるまで恥ずかしい」ということではなく、「痔だ」ということも平気で人の前で先生に訴えています(笑)

それに、人が診断されている話を聞くことで、「ああ、自分は少しましなんだなあ」とか「こういう風に聞けばいいのか」と分かってくるようで、以前よりも、先生への症状の訴え方や先生の質問やアドバイスから、健康に関することを学ぶこともできるようです。

雨森先生、今年は2回目の渡航として10月か12月を計画中。12月になれば、先生のお好きなアンコールマラソンもあるので、ぜひマラソン参加も兼ねて来ていただきたいですね。



Asia Young Pharmacist, LEADERSHIP FORUMに薬剤師七海が参加！

2016年の11月にカンボジアのアンコールワットがある都市、シェムリアップで発足したばかりのカンボジア若手薬剤師グループによるオーガナイズで、アジア若手薬剤師フォーラムが開催されました。

今回はJHPAからというわけではなく、アジア若手薬剤師フォーラムの副代表という立場で、JHPAの理事長である七海が日本における薬剤師教育と薬剤師に求められる資質についてプレゼンテーションを行いました。

日本の薬学教育は6年制であることや、実務実習などが課される点、さらには大学に入学するまでの教育のシステムについて話をしました。

参加者の多くはカンボジアの薬学生で、大学教育のシステムの違いに目も丸くしている学生もいて、みんなの反応が新鮮でした。今回の活動は、JHPAの活動の一つである国際交流事業の一環も担えたのかなと思います。



アジア薬剤師会開局部会の前部会長と現部会長が健康診断活動に参加



向かって左側から、生出泉太郎氏、七海陽子、Ly Layhak氏、曲淵直喜氏

2016年の11月の健康診断活動に、アジア薬剤師会の薬局薬剤師が集まる「開局部会」(Community Pharmacy Section)のChairmanの先生お二人(前部会長の生出泉太郎氏と現部会長の曲淵直喜氏)が同行し、現状の見学にきてくださいました。お二人とも、仙台市と唐津市でそれぞれご自身で薬局を経営されている社長さんであり、一般用医薬品や漢方相談などの経験が豊富な薬剤師。健康診断活動での医薬品のセレクトにも色々アドバイスをいただきました。

この時に、てんかん発作のコントロールが難しかった患者さんに、先生のご助言で柴胡加竜骨牡蛎湯をお渡ししたところ、翌月、「今月は卒倒しなかった！」という嬉しい報告も♪

今回の訪問を機に、生出泉太郎氏には理事へ就任いただくことになり、5月の総会で承認されました。

新理事、生出泉太郎氏が就任しました。

上記のような経緯で、生出泉太郎氏が新たな理事として就任しました。

生出先生は、東日本大震災の当初、日本薬剤師会副会長、宮城県薬剤師会会長として、現地の災害対策本部で災害支援を指揮したご経験があり、災害医療についてもベテランの薬剤師。また、当時、残ってしまった寄付医薬品を当NGOが引き継げるように、行政への働きかけや調整を行ってくださったのも、生出先生でした。アジア薬剤師会での役員メンバーとしての経験も豊富で、アジア各国への渡航も数え切れず。

先生のご経験と医薬品や健康管理の知識は豊富で、当NGOとしてもこんな力強い薬剤師の先生を理事に迎えられたことを嬉しく思います。

定款変更しました。

特定非営利活動促進法第25条第6項の規定により、定款に記載されている、「公告の方法」の項目の変更が必要になりました。

これは、賃借対照表の公告方法を定めるもので、当法人は内閣府ポータルサイトに掲載する方法としました。



東日本大震災当時、宮城県薬剤師会の災害対策本部で指揮をとる生出泉太郎氏



雨森先生来訪の日。患者さんが受付にあふれました！

入会及び会費(寄付)のお願い

私達のNGOは収益を得る事業を行っておりません。したがって、この活動は現在全て、活動参加者のボランティアによって実施されています。しかし、渡航費、医薬品の購入代を参加者による自費だけでは継続的に活動を行って行くことは非常に困難です。

この活動にご賛同いただける方は是非、ご入会をお願いいたします。

個人会員@年会費:1万円/年 法人会員@年会費:10万円/年

また、通常の寄付金も受け付けております。

<興味のある学生のボランティア参加も次々受けけます！気軽にお問い合わせ下さい>

OTC医薬品現物での寄付も受け付けています。

* 第2類~3類のもので対象疾患がGeneralなもの。(例:総合感冒剤・健胃薬・抗菌以外の点眼剤・ビタミン剤・整腸剤・小児の適応のある下痢止め・消毒薬・傷薬・解熱鎮痛剤・シップ類)

* 期限は6カ月以内のものであればカンボジア国内に寄付医薬品として輸送可能です。

詳しくはwebのcontactメニューから問い合わせ内容を送信してください。

<http://www.japan-hpa.org/contact>

ゆうちょ銀行【店番】458
【普通口座】1933645
【名義】特定非営利活動法人
Japan Healthcare Promotion Association
トクヒ ジャパンヘルスケア プロモーション アソシエーション

郵便局振替口座 00930-5-282252 (青い振替用紙)
特定非営利活動法人 JHPA

NGO JHPA ニュースレター Vol.7 No.1/ June 2016
631-0805 奈良市右京3丁目6-2 0742-71-9501
N-c03 Cheerfulness St. Sangkat TekThla, Khan Sen Sok, Phnom Penh
Official Blog: <http://japan-hpa.blogspot.com>
Official facebook : NGO Japan Healthcare Promotion Association